

翔

第7号 (平成4年5月1日)



山原昌娃きもの着付学院



着物美人が集う 平成四年一月十八日 加賀屋・飛鳥大ホールにて

初春帯結びコンテスト

平成4年1月18日(和倉温泉・加賀屋にて)

平成四年一月十八日、山原きもの着付学院の第四回「初春、創作帯結び、装いコンテスト」が加賀屋飛鳥大ホールで各教室、連鎖校に加え、各界からの来賓を迎え二百余名の参加のもとに行なわれました。

コンテストに先立ち山原学院長のご挨拶と十三名の各連鎖校の先生方の紹介がありました。学院長は「一人／＼が身近な处で可愛いがられ、役に立つ存在

入賞チームのひと言

『有磯の虹』

夢姉妹

静まりかえった場内に、響く声。

「二位、有磯の虹、夢姉妹チーム。」

「エッ……？」チームの皆さんが、顔を見合わせた。

驚き、とまどい、

「言ったね？ 夢姉妹って」

と、互いに確認し合う有様。

まさか私達が……。と、いう

思いの中にも、何か熱いものが込み上げてきました。



第1位 有磯の虹

になる様に」と、会員一同に呼びかけました。それには「技術は一流に、態度は謙虚に」が大事であると強調されました。これから会員の目標となる言葉であろう。

引き続き行われた「装いコンテスト」では、習い始めて三ヶ月から一年以内の生徒達三十九名が出場し、「一人で着物も着ることの出来なかった私が帯まで付けてコンテストに出る」喜

あはれ、チームの一人が夢に見た幻想を結んでみたものです。有磯海にかかる輝くばかりの虹。キラキラ光る波。そして、青空に浮ぶ雲を、かすみ草で表現してみました。せつかくの虹が重くならないように、配色良く軽い布地を縫い付け、何と

びを体一ぱいに表わし審査をうけました。続いて「創作帯結び」の部に移り、各教室や会から出場した十九組が、世相、地域、季節の特徴を上手にとらえ創意工夫した帯結びを披露しました。この後審査に入り、今年から採用された一般審査員からの点数も考慮され、最優秀賞には、夢姉妹チームの「有磯の虹」が選ばれました。また審査委員を代表して日本作家の水道秋聖か一本の帯で仕上げる事ができました。

来年も今年に続いて、ぜひ、優勝をと、欲が出てきました。水見教室のチームワークの良さで、これからも頑張りたいと思います。

『寒椿』

渚

だんだん日が近づくのになかなかまとまらずぶつづけ本番で結ぶことにしました。花は半巾帯、芯は子供の頃に使ったぐりを

『椿の精』

中日文化センター

“続いて3位”何だか聞き覚えのある名前。思ってもいなかった瞬間に私達チームは誰も戸惑ったに違いありません。でも確かに私達の名前を呼んだみたい？ そう思っているうちに、知らず知らず舞台の方へ足を向けていました。思えば11月に参加を決意してから、今の形になるまで何時間もかかりました。集まる度のため息ばかり。皆で知恵を出し合ってもなかなかまとまりませんでした。がしかし、私達が、この帯結びに費やして

先生より、今日は「心の中のもの」が容姿に表われる」ことの集大成であろうとの言葉を戴きました。回を重ねる毎に出場者が増え甲乙つけ難い技術・創作が披露されるので、それを審査する方法が今後の課題である。

使用し葉は袋帯の裏をつかってみました。帯に赤緑黄と原色を使ったので着物を白地にしてみました。(雪のつもり)華やかなコンテストの中に白無垢はと思ったのですが……

されたとき、開口一番うそ、ほんとう……の一言でした。昨年に続き賞をいただき感激しました。来年もより工夫を凝らし頑張りたいと思います。ありがとうございました。



第2位 寒椿

きた時間は、コンテストの為だけの帯結びではなく、これからのおけいこにきつと役立つでしょう。そう信じてこれからも前進して行きたいと思っています。こんなに素晴らしい体験をさせ

ていただき、本当に有難うございました。先生方感謝の気持ちで一杯です。いつまでもこのコンテストが続くようにと願っております。



第3位 椿の精

『鶴の翔』

浜っ子

おめでたい席にはかかせない鶴・亀。また鶴は田鶴浜町の地名の中にも使われており、私達



翔賞 鶴の翔

はどうしても帯結びの中にこの鶴をとり入れたいと思い、つくりはじめました。手先で鶴のはばたく様子を表し、中央のおたこは亀の甲羅を表しました。箱ダーツのとり方によって作る

『祝い扇』

華・三十路

私達は実際に使えるミセスの帯結びをという観点から、六通柄の袋帯一本のみを使用し、他の付加的装飾を一切避けて創作



アイデア賞 祝い扇

帯結びに挑戦致しました。試行錯誤の結果、お太鼓部分には手先で作った三本ダーツを斜めに走らせ扇を閉じた様子を現致しました。たれは横に使い六本のひだをとりました。従来胸に巻く無地の部分では、紅白

たびに形が違ってしまおうたいこを、いかに亀の甲羅に見せるか苦労しました。最終的に結んでみた所、全体的に少しさみしかったので、おめでたづくしで松をそえてみました。そうすることによって組み紐で表した亀の頭もより引き立ち、満足のいく仕上りになりました。また、作品名も機関誌である「翔」の字を使わせて頂き、「鶴の翔(はばたき)」としました。そして作品名と同じ翔賞をもらう事ができ、感激で胸がいっぱいです。これからいろいろな作品にチャレンジし、がんばっていきたいと思います。

帯結び・装い

コンテストを終えて

雪があたり一面を純白にした正月18日。第四回初春帯結び・装いコンテストを盛況のうちに終える事が出来、実行委員一同感謝の気持ちでいっぱいです。当日は足もとの悪いなか二百数名ものご参加を頂き装いには四十名・帯結びには十九チームが会場され、その気迫が広い会場に満ちみちておりました。コンテスト出場者はもちろん、我々裏方も大変良い「勉強」をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

の扇を作り、手先のかわりに左よりのぞかせ、たれと連続させて扇を開いた様を表わしました。姿勢を使用し、小物類をピンクとブルーで統一致しました。結婚式、受賞のパーティー、還暦のお祝い等晴れの席にふさわしく祝い扇と名付けました。ミセスでも後姿に華やきを添え、若々しく装いたいものです。



(実行委員長 神野律子)

帯結びコンテスト出場者一覧

★中日文化センター「椿の精」

浜辺義美・森下玉恵・森下シズ子・森下和子・前川ミヨ子・川端早苗

★雪「パピヨン」

山口千佳子・大場卓美・橋本美恵

★くじやく「はばたき」

水瀬あい子・脇方理恵・山本幸子・橋本代子・万尾厚子

★春咲小町「華孔雀」

梶原洋子・山口牧子・岩端康子・盛本久恵

★幸娘「華」

高野なり子・山田光代・里見美江・原田美香・松井涼子

★夢姉妹「有磯の虹」

松尾弘子・山田文枝・塚原春美・島内勝代・角田さち子・山田ヒトミ

★セブン「もっこうバラ」

新古嘉子・花野和代・龍田フミ・林昭子・平野外志子・八十田静子

★少女隊II「りぼん」

今崎ゆかり・藤沢富三・牧田和子・石川真由美・森野江任子

★ラ・フライデー「パリの花」

水田慶子・中田明美・高橋きくの・小山優子・清水久子・中野てるよ

★浜っ子「鶴の翔」

伊藤弘子・日下靖代・一花とみ子・高畑紀子・松田浩美・三野裕子

★渚「寒椿」

田中カフミ・北山祥子・吉田智恵紀・和田三子・芳永喜代子

★無す「未完成」

佐野啓子・小藤弘恵・橋本佳子・鹿渡幸子・品川美智子

★はいからさん「びっくり箱」

角田伊規子・細真紀子・谷畑美由紀・高真理子・松平和美

★見返り美人「かれん」

嶋田涼子・見上直美・清水昌美・平田佳子・的場博美・尾谷幸子

★フラワーエンジェルズ「花束ブーケ」

草真由美・草絵利子・孫総一美・庵三重

★かぐや姫「花つつみ」

石川有里・酒井敦子・石井富美・増千恵美・樋爪ゆかり

★ブラック倶楽部「扇寿」

吉田利子・久保みあき・宮本純子・北原峯子・河原佐代子

★ウインク「春つらら」

水上美枝・藪田由紀子・神野律子・左近清美・清水澄子・小沢和代・西谷洋子

★華・三十路「祝い扇」

安田由美子・池田孝子・杉山喜美子・山本順子・花島智恵美

花衣ぬぐやまつわる

紐いろく

杉田久女の句である。着物というものは、ぬいでも着ても衣桁にかけても、絵になるなあと改めて思いながら、着物をきなくらしが永くなったことに気付く。それでも、着物は私の心の中ではそれほど遠いものではない。若い日に好きだった着物のあれこれは、すでに手許から失なわれたものでも、柄も手触りも着こちも鮮かに思いだす。

きもの・つれづれ



童話作家

坪井 純子

春雨の衣桁に重し恋衣 虚子

そうそう、あの時はあの着物を着ていったつけと、たぐりよせる記憶の糸に引きよせられた着物や帯が、華やかに心の部屋に広がってくる。昔の女ですなえと、ズボンをはき、椅子に足をくんだいまの私が少し苦笑している。苦笑しながらも、着物にまつわる思い出は、心に肌は、しっとりとうるおいが蘇るようで楽しい。

いまは結婚して家を離れた四人の娘が、まだ幼い女の子であった頃、それぞれに花柄のゆかたを着せて花火をみに

いったあの夜。しほりの赤い三尺が、小さな後姿の腰にふくらんでゆれていた。一気に時間をさかのほれば、黒に近いような古代紫のコートを着て、紫のおこそずきんをかむった母を美しいと思ひ目をみはった幼い日の私。

時間の流れの中を、波間をたゆたいながら消えてゆく花のように、さまざまな着物が私の生涯を彩っている。それほど、悪い人生でもなかったかなあ：と、ふっと思った。ふだんは、

けっこう恨みがましい人なのである。

それが、着物のもつやさしさや華やかきると、女性から女人に変身するようなど、おこがましくも昔々言ったことがある。ずいぶん長い間その着物を着ない。久しぶりに着てみようかなあ？変身？するだろうか？

をみなにてまたも来む

世ぞ生れまし

花もなつかし月もなつかし

山川 登美子

た、た、たつと廊

下を小走りする足音、私は「来た」と

心の中で呟く。きつと顔もゆるんでいたかもしれない。

中日文化センター

金沢教室の土曜日、午前の教室である。

山原先生の教室である

が私も代って出させて戴いている。その

の教室に子供連れで一年前から通っている生徒さんが

いる。山下みなりさんである。お嬢さんの名前は「里

美ちゃん」。小さなリュックサックを背に水筒を持ち、

部屋に入ると自分の席に着く。彼女は昨年の夏プール

での事故で一週間病院に入院した時、一ヶ月位休んだ

が秋には元気な姿で教室に現われた。

先日心がほのぼのとする場面に出合った。教室では

始まりと終りのご挨拶の時にきちっと

姿勢を正す。彼女も小さな手を前に

揃えてかまえる。一人

のリードで

ご挨拶が終る。そして

教室だより

一同きものを脱いでかたづけにかかる。

その日は里ちゃん

もゆかたを持参し、

自分ながらにまわり

にある小物類で帯結

びを楽しんでいた。

そしてご挨拶のあと

自分でゆかたを畳み

だした。小さなゆか

たを夜着だみでき

れいに始末したので

ある。お母さんは「教えたわけでもないのに」と云い、

一同感動しきりである。今からこれだと着物の好きな

子になるね」との声も聞こえる。私も心の中で「きつ

とそうでしょうね」と呟き、そして、今学んでいる若い

人の中から里ちゃんを教えている講師がいることを思

い描いていた。

里ちゃんは今年から保育園

園に行く。そして三才であ

(上島 佐洋子)



きものと帯・貸衣裳一式

あさだ 呉服店

七尾市馬出町ナ部48
TEL0767(53)2555

もりやま薬局

七尾市役所裏

七尾市袖ヶ江町14-11
TEL0767(52)1952

特別価格で大奉仕！

総合家具
センター

橋本の家具

■大師店(鹿西～久江線県道沿い)
☎(0767)77-1876



能州紬

石川県門前町

海藻染めと手繻の技法に代表される能州紬は西陣織に能登の雄大な自然と素朴さが加味された現代センス溢れる先染織物といえよう。

路傍には水仙が咲き乱れ、春を思わせる陽気の2月28日、七尾から富米を経てドライブする事一時間で門前町に着いた。海岸沿いの能州紬織元糸芸苑は静かなたたずまいを見せていた。悠久の歴史に育まれた伝統の町である門前町は、かつては総洞宗総持寺の門前町として栄え、織物技術は総持寺の関係者によって持ち込まれた。それが手織物として農家や民家で織り続けられ、伝統として地道にはぐくまれてきた。

門前町では、昔から婚礼の際の着物を女達が織り上げて持参したそうである。

「上手に織らねば嫁には行けん」

との言い伝えが今に残っているほど、この地では手織が生活の一部になっていた。この様な伝統の技術と精神が脈々と息づくこの門前町に、新しい息吹を与えたのが、上島洋山氏である。上島氏は大正13年、「五百年の歳月を織る町」西陣の織元十二代目として生を受けた。終戦後、父親の経営する織物業に従事していたが、昭和43年に門前町の誘いでこの地に移り、主婦達に西陣織の技法を指導しながら、やがて手繻という技術を考案した。これが能州紬の誕生である。

では「手繻い織」とはどういうものであろうか。古くから西陣織に伝わる「つづれ織」の技法をヒントにし、図柄の裏地に縫い糸が全く出ず、表裏同柄に織り上がる独特な紬の織り方である。この織り方だと、刺繻や絵画の様な繊細な柄が生まれ、裏糸が厚くなるのを防ぐ。手織段階だけで約一ヶ月、繭から数えて十五工程を経て来ると、早くて三ヶ月、手のこんだもので六ヶ月という様に根気のいる仕事である。

能州紬は、糸に艶があり手に取るとしなやかさが伝わって来る。冬の能登海岸に押し寄せる波の姿をきものに表現した訪問着を見せて頂いた。耳をあてると波の音が聞こえ、自然の持つ厳しさと能登の女性の優しさが伝わって来る様な作品である。

どうしてこんなにやわらかい風合いが出るのかと伺うと、海藻染めという今迄に聞いた事のない染め方を教えて頂いた。

早春の門前海岸には、海藻が波打ち際に押し寄せる。健康の為に海藻風呂に入ると、絹の手拭いに艶が出て、肌ざわりが良くなる事に気付いた。同様にして紬糸を海藻の煮汁に浸すと、糸が強くなり、しなやかになる事を発見した。

海岸からあるいは舟にのって採取してきたカジメ・ギバサ・ホンダワラといった海藻をよく晴れた日に天日で乾燥し保存しておく。まず海藻を塩分をおとす為によく水洗いし、少量の水を加え、ゆっくりと弱火で煮る。煮汁が紅茶色になったら、海藻を取り出し汁をこす。煮汁を

豆腐・コンニャク

飯川豆腐店

七尾市作事町
TEL(0767)52-0766

時計・宝石の店

ジュエル 伊田

金沢市彦三大通り
TEL (0762)21-7162(代)

温めながら、何回も糸を引き上げては浸すという作業を繰り返す。初回は薄いベージュ、回を重ねる度に色に深み加わり濃い茶色に変わっていく。銅や鉄で媒染すると思いがけない色彩に出合うという。更に蘇芳・紅花・楊梅・どんぐり・梔子・姫昔蓬等で草木染を施し、何十種類もの色に染め分ける。手作りの色合いは、茶、緑、紫などが入り混じった複雑で枯れた感じの素朴な色をকাশ出し、豊かな表情を与える。

こうして染め上がった糸は、糸繰り、整経、箆通し、管巻き、杵に緯糸を巻きつける作業を経て、いよいよ機織りが始まる。

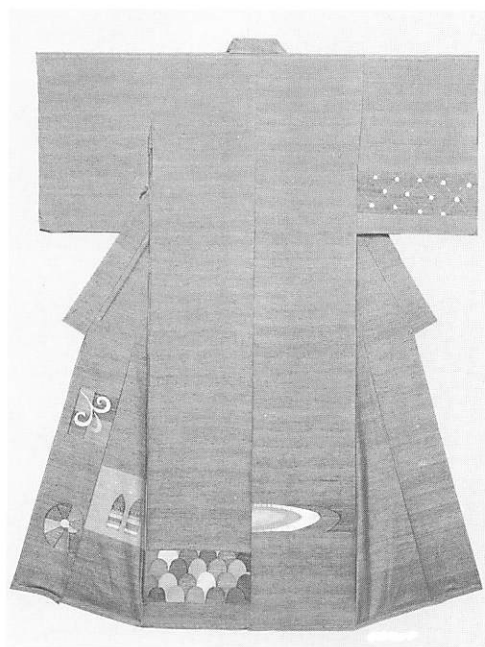
経糸にベージュ、緯糸にグリーンと対照的な色糸で織ると、人間の動きに合わせて玉虫色に変化して見える。ベースになる地色の濃淡・明・暗色により、もとの糸の色とは全く別の色に変化する。それが喜びでもあり苦しみでもある。

一段織るのに5回以上も杵の色を変え、一本の帯では50〜60丁も杵の数が要だという。

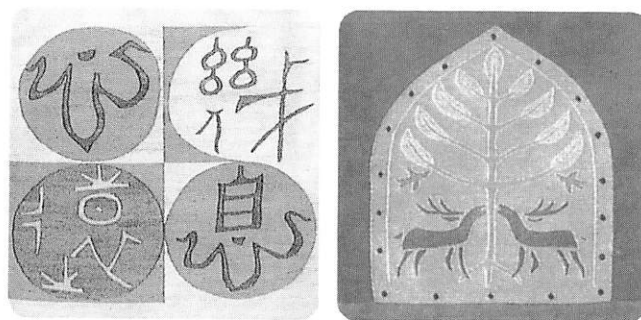
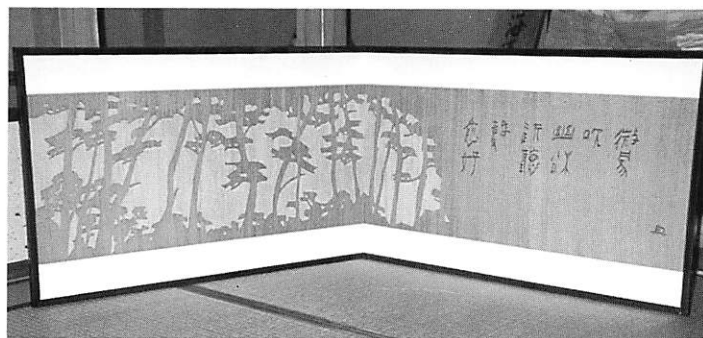
図案製作は作業工程の中で最も重要なポイントで、能州紬の生命を決める。きもの・帯共原型寸法の紙に図案を描き入れ色を指し地色との調和を考えていく。月や星、象形文字等エキゾチックな図柄が今迄にない感覚を見る者に与える。

これは図案家綿貫宏介氏の仕事である。綿貫氏の作品はきものの柄という概念にとらわれず、壁に掛けて鑑賞する要素を持つ着物絵画とも言える。漢詩の情景の図案化も試みられ、実際に風炉先屏風として使用されているのを拝見すると、これが織物なのかと目を疑う。上島氏の染色の技と綿貫氏の絵の図柄が溶け合った時に、能州紬は感性あふれる色調のハーモニーを得、フォーマルな場でも着こなせる紬として変身した。

私達庶民には手の出ない程高価な能州紬であるが、取材してみても、きものに対するあくなき思い入れと、心と技が生んだ染めと織の素晴らしさは、見る人、装う人を魅了しつくす。さまざまな技法を凝らした紬を越えた紬に美術品としての織物を見た思いがした。



▲上島洋山氏



綿貫宏介氏デザインによる帯図案

毎日のお買物、おてつだい

あだちストア

〒925 羽咋市中央町フの168
電話(0767) 22-1133

Daily Shop

あだち

〒929-13 羽咋郡押水町今浜ヲ173
電話(0767) 28-5050

ねぶた一色の店内で、

みちのく津軽に舌つづみ。

居酒屋 **津軽**

有松店 / 金沢市有松2-4-6有松ハイツ1F

☎47-6870

窪 店 / 金沢市窪7-295クレインビル1F

☎45-1533



素直

いくつになっても、大切な言葉、「素直」。

よく大人は、子どもが生まれたら一番に、健康、次に必ずと言っていいほど、素直な子どもに育って欲しいと言う。しかし、実際に大人になった時、本当に素直な心でいると、時にはバカをみるときがある。ふとそんな体験をした時、淋しい思いをする。でも、誰もが心の中で、いや自分のしていることは正しいんだといいきかせているのではないだろうか？

私はあるテレビ番組でテーマは、忘れてしまったのですが、75才のおばあちゃんの一言がすごく心に、残っています。それは「誰からもかわいがられる老人になろうとは思わないが、人の言葉に、はいと言える素直な老人でいたい」と。

やっぱりいくつになっても素直でいることは、難しいけれど大切なことだと思う。私もこんなおばあちゃんのようにトシをとりたいと思います。

指導員 大塚 明代

『手紙』

すっかり春めいて、街の角や通り過ぎる風が、春だヨと囁いている気がする。

最近見上げる星空が、余りに高くて綺麗なのに、仕事の疲れも忘れ、家路に辿着くそんな毎日を送っています。ある心地良い休日、棚の奥から、沢山の手紙を見付けた。その頃を懐しんで掃除も忘れてドカッと腰を下ろして読み漁った。手紙は残るから嫌という人もいるが、残るからいいのだと思う。短大を卒業して以来、殆ど連絡もない今、恋しくなると、友人に手紙を出す。元々、全国にペンパル

が欲しい位、手紙が好きだった私だから、相手に要求する時は、自分からと心掛けています。

五年前にたった一度、東京の祖父に出した事があります。入院していたので、元氣付ける意味もあったのですが、末期癌だったのですが、二通目出せる事なく、他界してしまいました。やっとの思いで書いてくれたこの返事・通が、今となっては祖父の形見の品です。当時は、文面が草書の為、五體字類で調べたものです。思わず昔を想う一時でした。また、手紙書こうかな、友は、永遠の財産だもの：指導員 橋 紀美恵

エッセイ

初春帯結び

「コンテスト」に参加して

「気軽に行ってみませんか」と誘われて、初めて参加しました。会場に着くと大勢の参加者で熱気があり、受付で「審査をお願いします」と云われて戸惑いましたが、いつも先生に注意されていること等をポイントにして審査しました。

生徒 深浦 米子

この頃思ふこと

ちよつといひ話。我家に三月三日女の孫誕生。おひな様に生れてくるとは可愛い子。我が子に出来なかつたことを孫に託し「着物着付やってくれればいいなあ」と、ばあちゃんばかになっている私です。

世の中、男女雇用機会均等法なんてむずかしい言葉で女性を守ってくれる法律も出来た今ですが、それでも自分にその実力能力があつてこそで権利だけを主張してもいけない。今こそ謙虚に自分自身を磨いていかなければと思う。ずい分前に

沈丁花の思い出

今年も沈丁花の花が咲きました。白と赤紫の小さな花が集まり合って咲く姿が可愛らしく、大好きな花の一つです。そしてあの爽やかな香り。あの香りをかぐと懐しい気持ちになつてしまふ私なのです。

それは卒業の季節と重なり合うから。やさしかった先生の事。いつもは大笑いばかりだった友達とその口ばかりは大泣きして別れた事。ひそかに憧れていた

なりませんが、学院長より教わったことがなぜかずっと私の心に残っている。それは「出しやばりはいけないが、あなたの意見は」と云われた時、自分の思いをきちんと発表できる人になつてほしい。ということでした。元々、能力の無い私ですがその後「チャンスを与えられた場合出来ることならお断りしないでやってみよう。やれる人になろう。」が私の心がけてきたことです。私ももう50才。

でも能力のある女性達実力をつけて二十世紀に向つてはばたきませんか。指導員 森 千代子

先輩を送り出した事等、次々と思ひ出されます。もう何年も前の事で、普段は全く忘れてしまっているのに沈丁花の花の香り一つで不思議とあの頃にタイムトリップし、少々センチメンタルな気分になつてしまふのです。素敵な出来事の数々を思い出させてくれるところが沈丁花を好きな理由なのかもしれません。

今年、この季節に仲の良い友人が結婚しました。又一つ沈丁花の思い出がふえそうです。講師 赤島弘子

産婦人科・内科・小児科

桑原産婦人科クリニック

院長 桑原正樹

■診療時間

平日 AM9:00▶PM6:30

土曜 AM9:00▶PM5:00

■休診日

日曜・祭日・木曜の午後

七尾市国分町ラ部2-1(七尾警察署横) ☎(0767)52-4103(代)
FAX(0767)52-6959

装いコンテスト出場者

浦登美子	表恵子	大谷一恵
奥村英美代	川島喜久江	表幸子
川崎明美	酒井弘美	川原小夜子
小泉和香	椎木智春	坂本浅子
沢田明美	高橋志保美	関塚真紀
瀬戸房江	立野公恵	高橋則子
東海美智子	豊蔵政子	田中春野
中村直子	長澤智恵	中條紀代美
原芳子	浜崎せつ子	野村喜美子
福田二美江	藤井みち	福井亜由美
宮崎恵美子	宮西真紀	村田千陽
村中和美	山崎明子	山下美津子
渡辺幸江	片岡洋子	武元朝代

入賞者の一言

着物の事は何一つ知らなかった私が、着付けを習い始めて9ヶ月になります。

教室に通い始めて、着物が大好きになったのですが自分で着物を着、自分で結んだ帯で外出する勇氣がなかなかでませんでした。

今回、この賞を頂き、自分でも大丈夫なんだという自信ができました。

着付けについては、まだまだ知らない事ばかりですがせっかく身に付けた技術を活かす為にも、これからも出来る限り勉強を続けたいと思っています。

奥村 英美代



華麗な美しさが一番表現できる着物姿にあこがれ、一人で着れるようになっていきたいと思います。着付けを習い始めました。今では、だいぶ着れるようになりました。一月に行われました、装いコンテストに振袖で出場させて頂き、入賞すること



ができました。あの時の感激はこれからの着付けを習っていくうえでの自信につながりました。又、週に一度皆さんと会うのがとても楽しみです。これからも着付けを続けていこうと思っています。

椎木 智春



自分の信じる道を充実感を持って堂々と生きている人魅力的だなと思います。毎日の忙しさに流されず自分の身に成るものかと思いつく教室に入会しました。少しづつ着る事を覚え帯結びを進むにつれて、着付けの事の奥の深さに驚いています。

先生に勧められての新年

会出席でしたが、帯結び等どれも素晴らしく、又コンテストでは思い掛けない賞を頂き、とても感激でした。今は帯結び一つにしても順序を覚えるだけで精一杯ですが、少しでも美しく着付けられる様頑張ってます。

川島 喜久江

当日の私は、緊張と焦りで大パニック。納得のいく装いもできず、入賞者発表の際も、名前が呼ばれたような「気がした」といった具合。賞をもらうほどではないのにと、恥ずかしく、ただただ、早く着物を脱いでしまいたいと思うばかりの、そんな一日でした。

賞に恥じないよう、もっともつと頑張らなければと喝を入れていた私ですが、この場を借りて、覚えの悪い私をここまで導いて下さった方々にお礼申しあげます。ありがとうございました。そして、どうぞこれからも宜しくお願い致します。

野村 喜美子

第四回装いコンテストに思いがけず入賞出来、これからの励みとなりました。先生方、雨や雪の日でも、教室へ通うのに車に乗せて下さった仲間達のおかげです。

若い頃から、着物を着る事の好きな私、三人の娘にも着せられたら、どんなに楽しみか、そんな思いが、着付けを習うきっかけとなりました。

原 芳子

各種ゴム入細巾織物及びゴム紐製造

株式会社 二口製紐

取締役 二口 金一郎

石川県河北郡高松町字高松サ49-66
TEL (0762) 81-0632(代)
FAX (0762) 82-5856
〒929-12

建築・設計・施工・不動産
シティハウス産業株式会社

〈本社〉 石川県七尾市馬出町八部51-3
〒926 (0767)53-2133 FAX (0767)53-7910
〈羽咋営業所〉 石川県羽咋市旭町ア部215-12
〒925 (0767)22-7539 FAX (0767)22-7540

リフォーム

してみませんか

準師範織田 しずゑ

現代は使い捨ての時代とばかりに物、物、物で溢れゴミの山を築き、そのゴミの始末に追われているのが実情です。

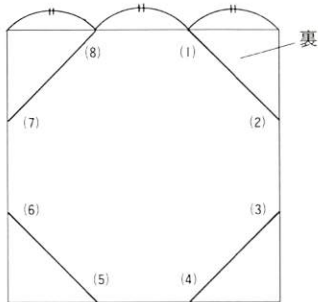
物を粗末にする心は、やがて人間も粗末にしていこうに思われます。

地球上の資源には限りがある、ということを私達は改めて考え、日常生活の中で、物を活かす・大切に「する心」を育てていくべきだと思います。

家庭のタンスの中に眠っている、ハンカチ・風呂敷・着物等の資源をリフォームする事によって女らしさを追求してみませんか。美しく、かわいい物を作る楽しさや物を大切にする心を育みながら次の世代にきれいな環境の地球をゆずりたいと思います。

巾着型小物入れの材料

表布 風呂敷柄物一枚
裏布 風呂敷無地一枚
(糸の布は張りがあり良い)
江戸打紐 50cm 2本
玉 2個



- (2) 一辺を3等分にして①②③④⑤⑥⑦⑧と正8角形になる様に印をつける。



作り方

- (1) 風呂敷は四等分に切り、表地・裏地を中表にして縫い表に返す。

- (3) 紐通しを作る

印の所に2本の糸でスカラップして、偶数の紐通しを作る。間隔が3cmとすれば糸は2cmぐらいに張る。紐通しは偶数の数にする。



(4) スカラップする



- (5) 紐を通して出来上り。
江戸打紐を一本は右から通し一本は左から通して紐の端に玉をつける。
(6) 円形に裁断すれば円形の巾着が出来ます。



山原学院長の日報メッセージ

- 1月18日 恒例の「初春の集い」は、200名を超える参加があり、華やかに平成4年の顔合せを行う。今年も共に学びましょう。講師会の皆様お世話様でした。
- 2月1日 実行委員28名の参加で反省会。来年の帯結びコンテストは3月14日に決定。「継続は力なり」あなたが主役です。今から創作のひらめきを。
- 3月6日 一啓蟄一冬眠の虫もそろそろ活動か。庭の草花の芽吹きに感動と感謝。
- 3月23日 田鶴浜教室の着付士科一振袖(1)一後の衿あきは難しい箇所。初々しく、可愛らしく。腰ひもの強さはOKです。
- 3月29日 永見教室の着付士科一留袖(Ⅲ)一背の紋は背中心に、胸の両紋二つの位置の高さを同じに。このあたりまえの事が難しい。衿と丈はOK。さすが(Ⅲ)です。
- 4月6日 石川県母子福祉センター主催のきもの教室始まる。(袖々江公民館10回)
- 4月11日 金沢地区講師会が発足。第1回勉強会は講師としての心構え。立場、立場による心配り、気働き、そして実力。金沢の核になる先生方、期待しています。
- 4月12日 師範会。年間行事他。
- 5月7日 婦人センター主催の現代マナー教室が始まります。参加下さい。(12回)

レディス・ファッション

日本美を きものに
中学・小学制服
田鶴浜女子高制服) 取扱い店

中村呉服洋品店

鹿島郡田鶴浜町 TEL(0767)68-2045

七尾機関区前

大洋クリーニング店

七尾市南藤橋町

☎(0767)52-2353

チビツ子もおすましの講習会

つむぎ会

平成三年十月五日、七尾市の農協会館にて、山原学院長を講師に迎え、七五三着付講習会が行なわれた。

子供の成長過程を祝う儀式は平安時代から行なわれており、今日まで受けつがれてきた。七五三という言葉が出来たのは明治時代である。

三歳児は髪置きの祝いあるいは紐落しと呼ぶ地方もある。四ツ身の着物を着せ、幼ないので帯を結ばず被布を着せておく事が多い。

五歳男児は袴着又は髪そぎの祝いと言われ、成人男子と同じ五ツ紋付羽織袴の正装をする。

七歳児は帯解き、帯の祝



▲手結び

最後に鼻すじにお化粧を施し、口紅をつけ出来上がりです。

▲つけ帯

結び方は、子供の体型に合わせて、幅を四つか五つ折にし、わを下にして、着物と帯に半分ずつかかる様に、きちんと重ねて二巻きする。結び目をゆるめない様にしながら、双輪結び又は片輪結びにする。

結び方は、子供の体型に合わせて、幅を四つか五つ折にし、わを下にして、着物と帯に半分ずつかかる様に、きちんと重ねて二巻きする。結び目をゆるめない様にしながら、双輪結び又は片輪結びにする。

しごきは女児の祝着に結ぶ装飾の帯で、緋やピンク黄などの無地染の縮緬や輪子のものが用いられる。

腰あげは、身丈を半分にした所、肩あげは、背縫いと袖付の中心を縫うと良い。

着付のポイントには、紐は苦しいので後ろでしぼり、帯にすこしかけて結び、帯揚げは、身丈を半分に

の干支がめぐってくる年の4月13日に行なわれる。

その他関西では、十三参りが盛んで、福德・知恵などを授かる様に、神仏へお参りする行事がある。自分の

いと言われ、それまで帯のかわりに付け紐をしていたのを取り、はじめて帯を結ぶ儀式である。

原稿募集

◇『翔』では、この小冊子をより一層愛されるもの

にしたと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。

◇評論、随筆、意見、提言、体験談、趣味の話、詩、

短歌、俳句、川柳、或いはマンガ、イラスト、カ

ット、写真等々何んでも結構です。

◇用紙 一行12字の240字詰

原稿用紙一、二枚

◇宛先 各地区教室先生迄

7月12日 講師資格試験

7月28日 指導員資格試験

8月2日 資格証授与式

（講師・指導員）

水見地区 指導員資格試験

5月20日 指導員資格試験

6月7日 指導員資格試験

与式

与式

与式

与式

与式

与式

与式

与式

与式

表紙写真

・モデル

庵 三重 由井裕美

川端早苗 長沢智恵

撮影 間蔵 俊甫

場所 七尾市西光寺

会員消息

結婚しました

・山本由美子（旧姓中村）

・鹿島郡中島町中島23-98

・津田久美子（旧姓藤井）

・七尾市津向町ホ部29

・鈴木ゆかり（旧姓樋爪）

・大阪府泉南郡熊取町久保976

・不二製油阪南寮C-403

・鶴見 寿子（旧姓鶴見）

・大阪府四条畷清滝中町23-422

・上寺さよみ（旧姓山本）

・松任市倉光町57-16

・ローズベイコート201号

・松田 睦美（旧姓池田）

・松任市倉光町57-16

・ローズベイコート106号

編集後記

「アツ」と言う間に、葉

桜の季節となり機関誌が、

お手元に届く頃は、つつじ

が咲き始めているのではな

いかと心配です。

編集委員一同頑張っており

ますが、仲々思うようには、

はかどりません。

御協力頂いた方々、心より

お礼申し上げます。

今回は、帯結び、装いコンテスト中心に、編集致しました。次回は、総会、資格試験などがございますので、今から、エッセイ、顔写真、その他、心の準備をしていて下さいね。 藤沢

今秋「国民文化祭石川92」が開催されます。七尾市のテーマは「香り文化」です。地元で採れた丸ごとのゆず

に丁字をさしてのポマングー（香りの玉）作りに参加しました。着物にも何か素敵な文化的香り付をと思いを廻らせています。皆さんのアイディア、ご意見をお寄せください。 松井

一月行く二月逃げる三月去るであつという間の四月、何を読んでも一頁の字数を数えている自分に苦笑しています。もう一度能州絢絲芸苑への見学を企画致しますので、皆様是非御参加下さい。 安田

●編集委員

藤沢 久江 上島洋子

松井 吉子 安田由美子

編集委員

藤沢 久江

松井 吉子

安田由美子

編集委員

藤沢 久江

松井 吉子

安田由美子

編集委員

藤沢 久江

松井 吉子

安田由美子

編集委員

藤沢 久江

松井 吉子

安田由美子

編集委員

藤沢 久江

松井 吉子

安田由美子

編集委員

藤沢 久江

松井 吉子

安田由美子

鮮魚冷凍魚・婚礼用鯛給食すりみ製造

立野鮮魚店

立野 眞 晴

〒926 石川県七尾市魚町89

TEL (0767)52-1013

加工場 石川県七尾市桜町8の2

TEL (0767)52-0516

日本の味・能登の味



茶木米穀店

販売所 七尾市川原町46番地

TEL (0767)53-3135

〔美しい〕
〔強い〕

省エネタイプ高級石綿糸屋根瓦

やまと瓦

YAMATO TILE

〔長持ち〕
〔省エネ〕



（ヤマトルーフ・サイディング）
外壁工事・増改
アルミ工事一式・シロアリ駆除

今が葺きかえのチャンスです!!



(株)ヤマト

住所 金沢市西泉3-10
電話 0762-41-6751
FAX 0762-41-8622



自然・人・社会 豊かな 地域の未来をめざして

私たちの夢を実現する

これが株式会社地域みらいです

建設コンサルタント

自然の大きなやさしさの中で
人の感性を大切にして
社会のほんとうの豊かさを求める。
この理念を原点として
未来への変化に柔軟に対応しながら
常に前進しています。

株式会社 地域みらい

本社 石川県鹿島郡鳥屋町字良川へ部32番地(〒929-17)
TEL(0767)74-2121 FAX(0767)74-0857
金沢支店 金沢市長田2丁目26番5号(MTKビル303)(〒920)
TEL(0762)23-4656 FAX(0762)23-4144

(旧社名) 七尾測量設計株式会社